

salomb 活用による
カラー 発色性 検証報告書

～ 水道水と salomb 水の左右同時比較による自社検証結果 ～

表 題	salomb 導入によるカラー発色性についての検証試験
試験目的	同一マネキンの左右で洗髪水（水道水／salomb 水）のみを変え、同一カラー剤を同一条件で塗布し、発色の差を比較する。
試験実施	株式会社 salomb 自社検証
検証日	2024 年 9 月 17 日
報告日	2024 年 9 月 20 日

1. 試験目的

salomb 水による洗髪が、ヘアカラーの発色に与える影響を検証することを目的とした。同一の人毛マネキンを左右に分け、左半分を一般水道水、右半分を salomb 水で洗髪し、その後は左右で同一のカラー剤を同一条件（同一塗布量・同一放置時間）で塗布した。洗髪に用いた水の違い以外は同条件としたうえで、左右の発色の違いを比較した。本検証は赤・青の 2 色で実施した。

2. 試験方法

【使用材料】

項 目	内 容
試験水①（対照群／左半分）	一般水道水
試験水②（試験群／右半分）	salomb 水（salomb 機器で生成）
カラー剤	ミルボン ENOG（エノグ）（赤・青の 2 色を使用）
被験体	人毛マネキン × 2 個（赤用・青用、各 1 個）

【施術手順】

手 順	内 容
① 左右で洗髪	同一マネキンの左半分を水道水、右半分を salomb 水で洗髪する
② カラー塗布	左右に同一のカラー剤を、同一塗布量・同一放置時間で塗布する
③ 洗い流し・乾燥	同条件で洗い流し、乾燥させる

手 順	内 容
④ 比較撮影	左右の発色を同一条件で撮影し比較する

3. 試験結果

左半分（水道水）と右半分（salomb 水）で、洗髪水以外は同一条件でカラー剤を塗布したにもかかわらず、発色に差が確認された。



青・赤いずれも、salomb 水で洗髪した側（右）の方が、発色が鮮やかで色が濃く出ている。

4. 試験結果と考察

洗髪に用いた水以外は同一のカラー剤・同一条件で塗布したにもかかわらず、salomb 水で洗髪した側（右）の方が、水道水で洗髪した側（左）よりも発色が鮮やかで色が濃く出る結果となった。これは、salomb 水による洗髪によって毛髪へのカラー剤のなじみが良くなったことが一因と推察される。赤・青いずれの色でも同様の傾向が確認された。

※ 本結果は発色の見え方に関する自社観察であり、カラー剤の浸透量等の数値測定は行っていない。発色の差は撮影条件・個体差の影響を受ける可能性がある。

■ 結 論

salomb 導入により、同一のカラー剤・同一条件であっても、salomb 水で洗髪した毛髪の方が発色が良好になる傾向が、自社検証により確認された。

salomb 水による洗髪は、ヘアカラーの仕上がり（発色）の面で有用であると考えられる。

以上